

L2TP VPNの接続設定 学生版

L2TP VPN に接続するには、東北大学全学統合認証システムのサブ ID とサブ ID パスワードが必要です。

【リモートアクセスサービスと認証システムについて】

リモートアクセスサービス（以下「本サービス」）は東北大学全学統合電子認証システム（以下「認証システム」）のサブ ID とサブ ID パスワードをアカウントとして認証を行います。

本サービスを利用するには、あらかじめ認証システムにサブ ID とサブ ID パスワードを登録する必要があります。

登録方法は、最後のページの「問い合わせ」をご覧ください。

また、サブ ID とサブ ID パスワードを登録してから本サービスが利用できるまで時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

【L2TP VPN の設定・接続手順】

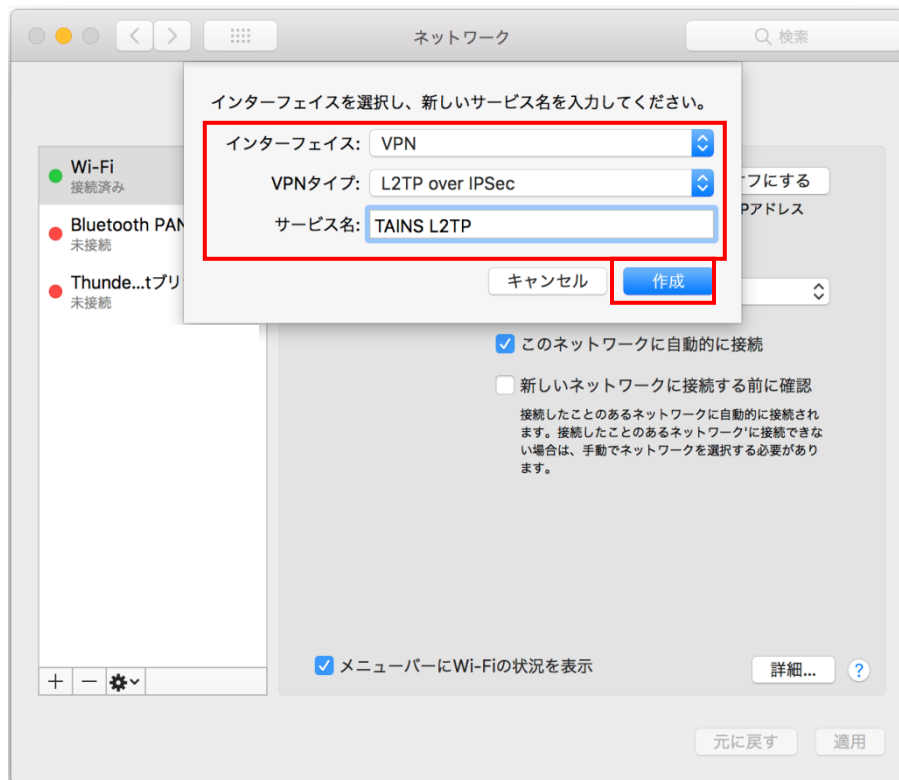
1. システム環境設定画面を表示し、「ネットワーク」をクリックします。



2. ネットワーク画面左下の「+」をクリックし、VPN 接続情報を作成します。

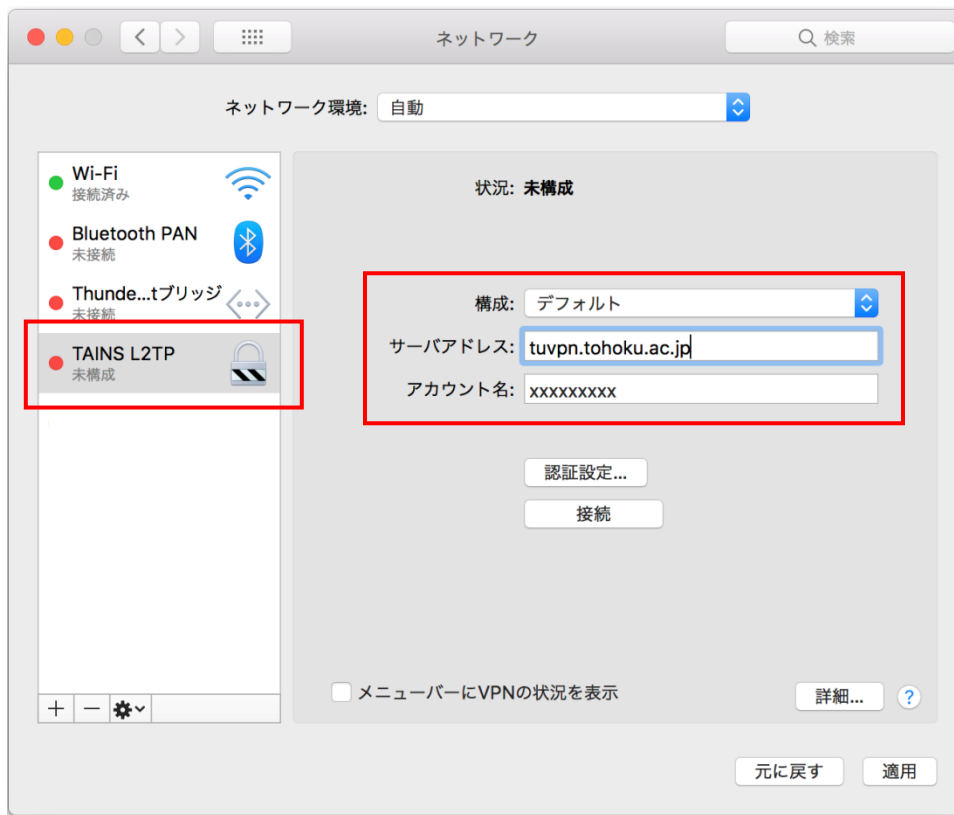


3. VPN 接続情報を選択または入力をし、「作成」をクリックします。



項目名	設定値
インターフェイス	VPN
VPN タイプ	L2TP over IPSec
サービス名	任意 (マニュアルでは TAINS L2TP)

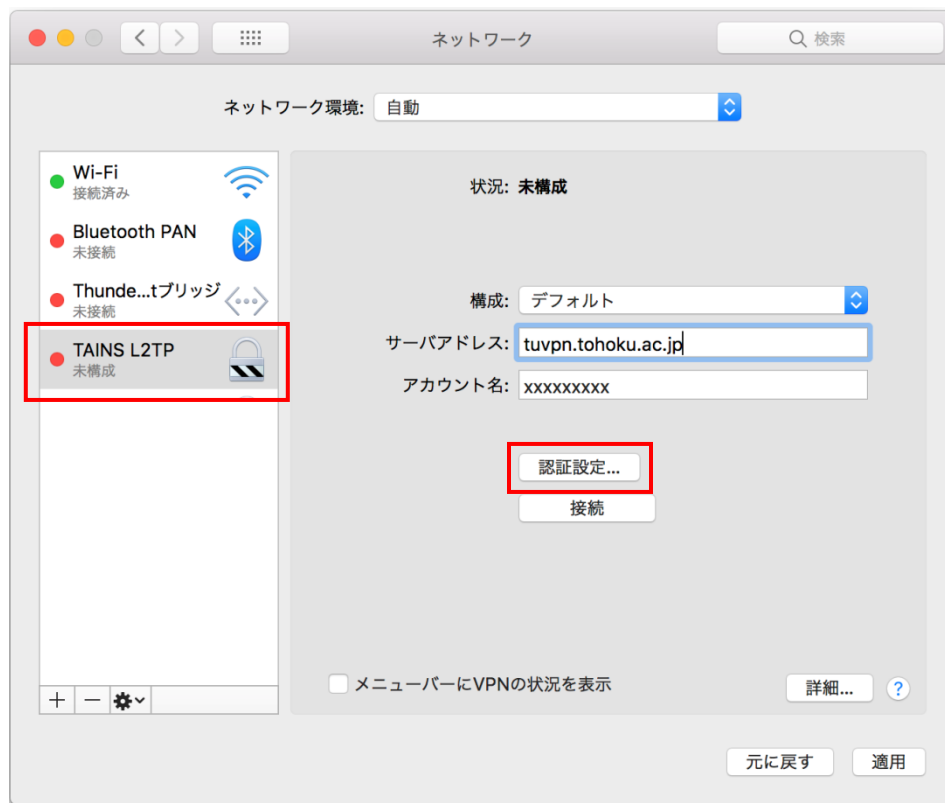
4. 手順 3 にて作成したサービス名を一覧から選択し、接続先の追加情報を選択または入力します。



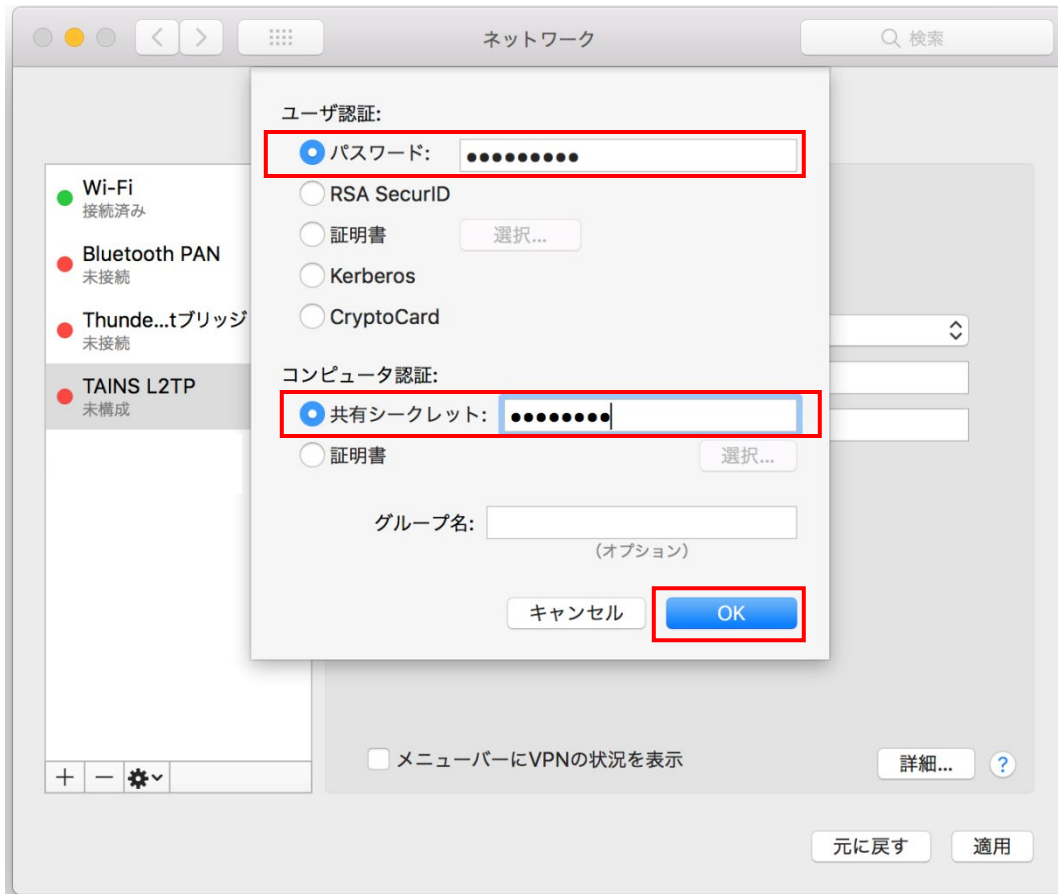
項目名	設定値
構成	デフォルト
サーバアドレス	tuvpn.tohoku.ac.jp
アカウント	サブ ID@student.tohoku.ac.jp

＜注意＞ アカウントはサブ ID だけではエラーになります。
「サブ ID@student.tohoku.ac.jp」と入力してください。
(例) tohoku@student.tohoku.ac.jp

5. 「認証設定」をクリックします。

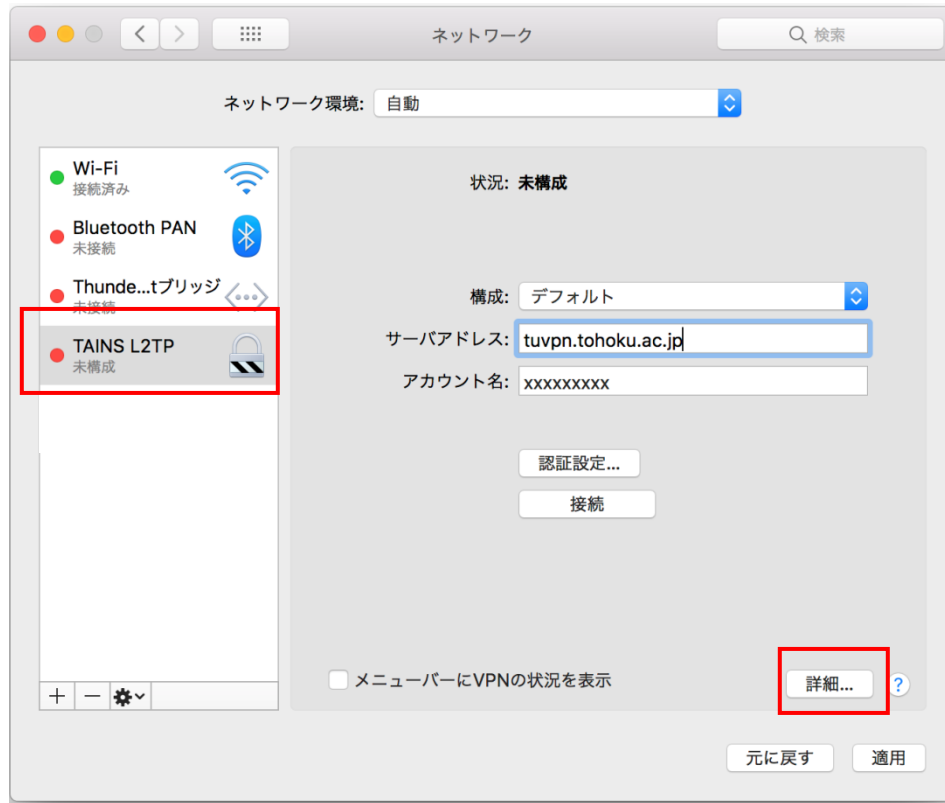


6. 接続先の追加情報を入力し、「OK」をクリックします。



項目名	設定値
パスワード	サブ ID パスワード
共有シークレット	vpnipsec

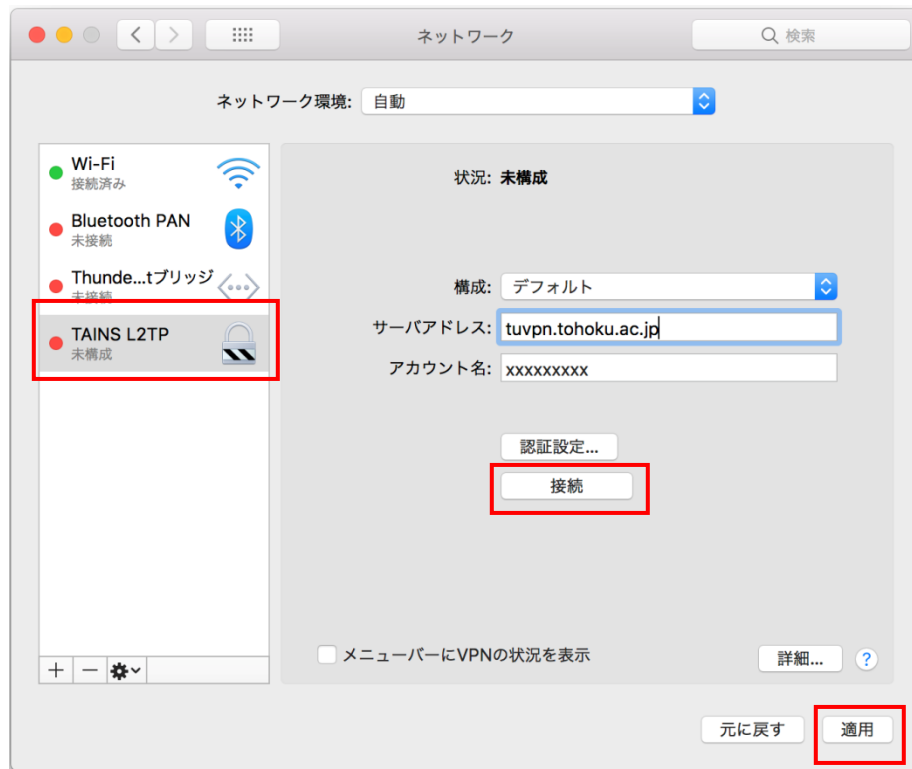
7. 「詳細…」をクリックします。



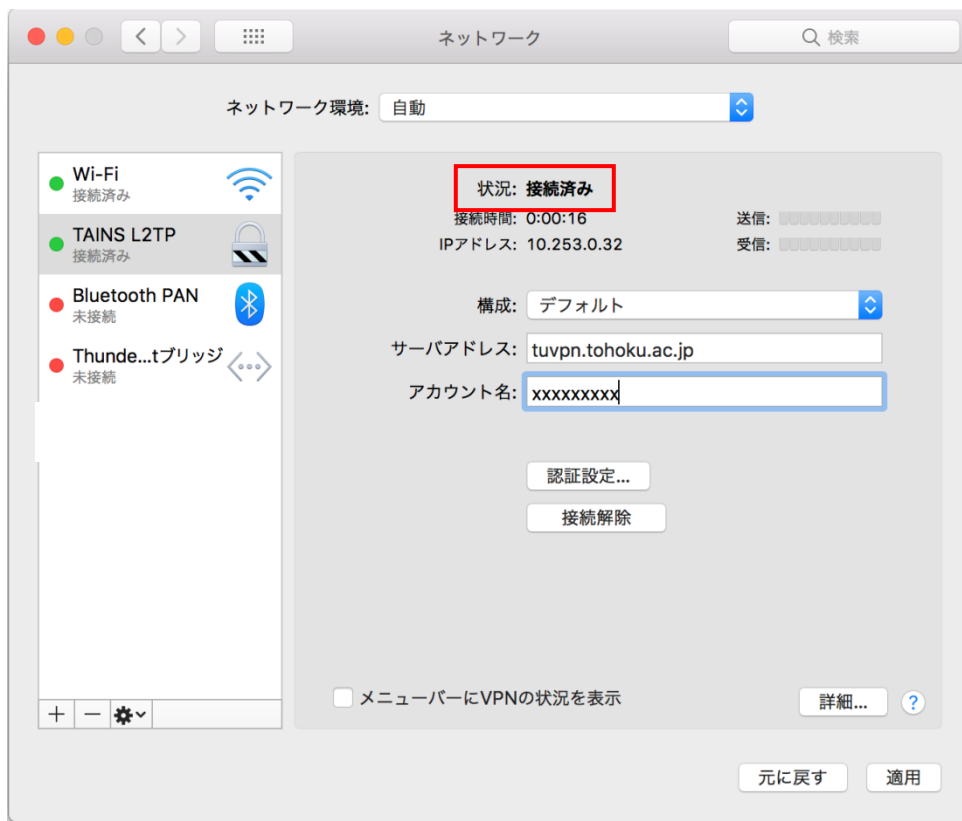
8. 「すべてのトラフィックを VPN 接続経由で送信」にチェックを入れて、「OK」をクリックします。



9. 「適用」をクリック後、「接続」をクリックします。



※接続状況が「接続済み」と表示されれば接続手順終了となります。

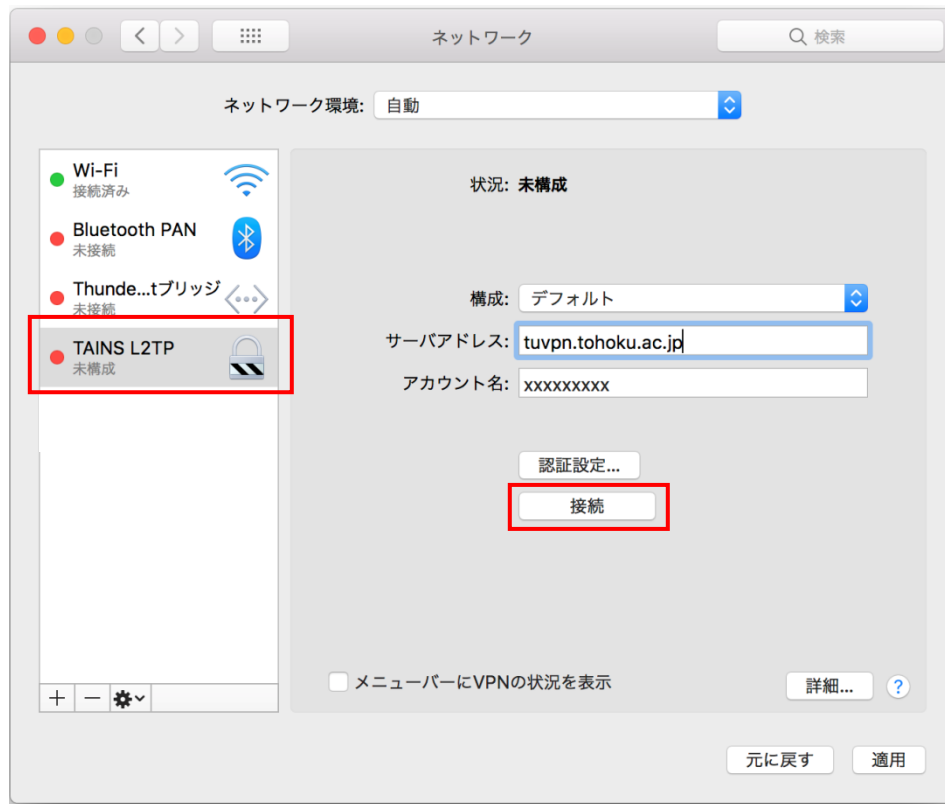


【接続切断手順】

1. 接続情報の画面から「接続解除」をクリックし、「接続済み」の表示がなくなれば切断手順終了となります。

【再接続手順】

1. ネットワーク環境設定画面から作成したサービス名を選択し、「接続」をクリックします。接続状況が「接続済み」と表示されれば再接続手順終了となります。



【本サービスの仕様：特徴】

- 学生が自宅から電子ジャーナルを参照することを目的としています。[「学認」で電子ジャーナルが利用できる場合](#)にはそちらをお使いください。
- 学内にあるサーバ、電子ジャーナル以外へのアクセスには利用しないでください（実際に利用可能なウェブサイトには制限をかけています）。
- SSTP、L2TP/IPsec、PacketiX、OpenVPN の4つの接続方式に対応しています。
- 電子ジャーナルを利用する際には、そのポイントとなる本学の図書館のページ等を開いてからVPN接続するようにしてください（前述の利用制限により、すべてのウェブサイトにはアクセスできないわけではないため）。出版社等がVPNによるアクセスを許可していない場合がありますので、図書館のサイトに記載の要領を遵守してください。[図書館へのリンク](#)

【お問い合わせ】

本サービス及び認証システムについてのお問い合わせ先は以下のとおりです。

- リモートアクセスについて
情報シナジー機構情報基盤運用室ネットワークグループ（情報部情報基盤課ネットワーク係）
Mail:tains(at)tains.tohoku.ac.jp
※(at)を@に読み替えて下さい。
- 認証システムについて
情報シナジー機構情報基盤運用室共通基盤システムグループ（情報部情報推進課）
（東北大学統合電子認証システムのURL）
<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/auth/>